



ブルーイノベーション株式会社

資本業務提携及びファイナンス補足説明資料

2025.9.26

自律分散型の社会インフラを支える ロボット・システムのプラットフォームへ

enabled by **BEP**TM 
Blue Earth Platform

中長期のブルーイノベーションの姿

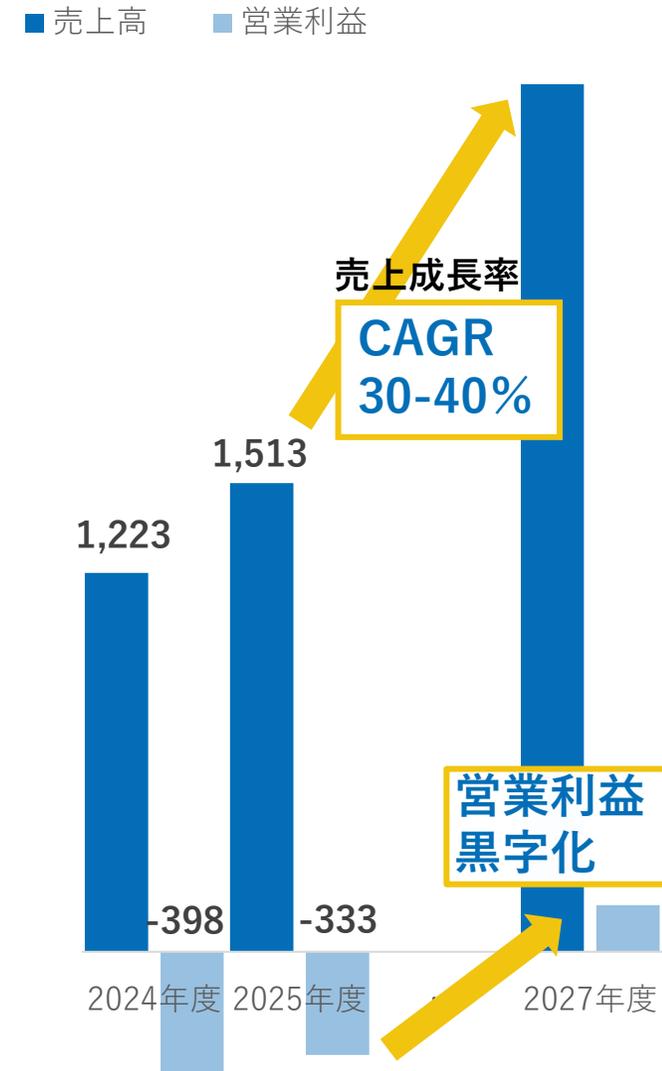
自律分散型の社会インフラを支える ロボット・システムのプラットフォーマーへ

1. 安全・安心な社会をテクノロジーで支える

- ・ 老朽化インフラや災害リスク等に対し、ドローン・ロボットやデータプラットフォームで効率的で確実な点検・防災DXを実現
- ・ 公共インフラの維持管理を支え、人々の暮らしの基盤を守る

2. 課題解決と成長を同時に実現

- ・ 社会課題への対応が成長機会となる、持続的なビジネスモデル
- ・ 課題解決を通じて企業価値を高め、株主の皆さまと共にリターンを実現



エグゼクティブサマリー

今回の提携とファイナンスの意義

成長戦略

- いであ社との資本業務提携で、**公共インフラ×ドローン事業を加速し**、社会課題（老朽化・防災・環境）を成長機会へ転換
- シンプレクス・キャピタル・インベストメントとの戦略的投資提携により、**事業機会創出とIR強化を推進**

株主価値

- 成長分野への集中投資により、**中長期的な株主価値向上を実現**
- 2027年度黒字化、ROE改善、ストック収益比率拡大

ファイナンス設計 (既存株主配慮)

- 複数スキームを組み合わせ、**既存株主に配慮したファイナンス設計**
- 段階的転換・株価上昇時のみ行使により、急激な希薄化を抑制

資本業務提携の意義：いであ社との資本業務提携による社会インフラ共創

環境・防災・社会基盤分野に強みを持つ『いであ株式会社』と資本業務提携を締結



公共インフラ・エネルギー・環境分野における新たな産業モデルの共創を目指す

公共インフラ点検の
効率化・高度化

いであの調査・設計力 × 当社の
ドローン技術による共同開発・提供

ドローンポートを活用した
遠隔監視・点検

人手不足や災害対応に有効な
共同ソリューション

水域・陸域・空域を統合した
自動点検システム

安全・安心なインフラ維持管理に貢献

資本業務提携の意義：いであ社との資本業務提携による社会インフラ共創



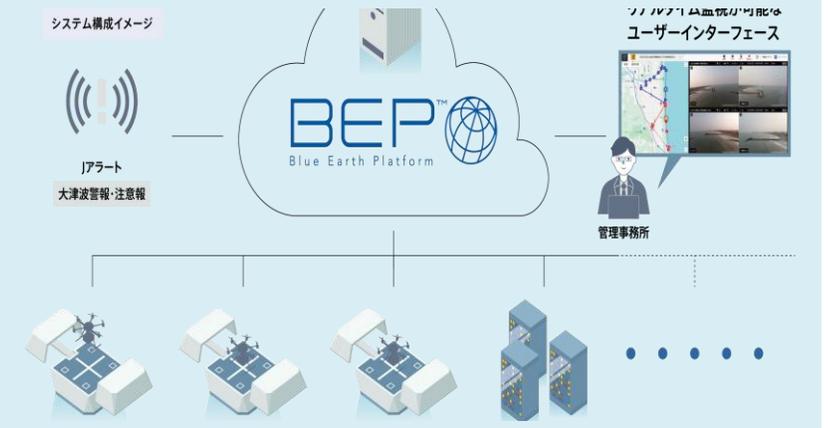
公共インフラ・エネルギー・環境分野における新たな産業モデルの共創を目指す

- 公共インフラ点検の効率化・高度化**
- ドローンポートを活用した遠隔監視・点検**
- 水域・空域・陸域を統合した自動点検システム**

- いであの知見とネットワーク、当社のドローン／データプラットフォームを融合し、点検の効率化・高度化を推進

- 国際標準に準拠したドローンポートとBEPを活用し、平時・災害時の迅速な点検体制を構築

- いであの防災・環境知見と当社の統合制御技術を組み合わせ、持続的な社会インフラ維持管理を実現



ファイナンスの基本設計：複数スキームを組み合わせた、最適な資金調達モデル

「即時の資金確保 + 将来の成長に応じた追加調達 + 既存株主への配慮」というバランス型スキーム

調達金額：約**12億22**百万円 / 割当株数：約**50**万株 / 最大希薄化率：約**12**%

1 普通株式

いであ

いであとの協業を
確実にする**“絆の株”**

調達金額：約 2 億円
割当株数：約 8 万株

2 CB（新株予約権付社債）

SCI投資事業有限責任組合

当初は社債、将来は株式に転換可能
段階的に資本性を強化

調達金額：約 5 億円
割当株数：約 21 万株

3 固定ワラント（新株予約権）

SCI投資事業有限責任組合

株価上昇時にのみ行使される追加調達
株主価値を不必要に毀損しない設計

調達金額：約 5.2 億円
割当株数：約 21 万株

即時の資金確保：約 **7** 億円

将来の成長に応じた追加調達：約 **5.2** 億円

※ 本件の発行条件は、発行決議日及び条件決議日時点の当社株式の株価動向にて決定されるものであり、最終的な調達金額及び割当株数は、開示資料にてご確認下さい。

※ 希薄化率とは、いであ社に割り当てる株式数と、SCI投資事業有限責任組合に割り当てるCBの全転換株式数および固定ワラント行使による株式数を合計し、それを2025年6月30日時点の発行済株式総数に対する割合で示したものです。

※ 「SCI投資事業有限責任組合」の正式名称は、「シンプレクス・キャピタル・PIPEs投資事業有限責任組合1号」です。

資金使途と成長戦略

充当先は研究開発／マーケティング／M&A待機資金の3領域に集中し、
中期の黒字化実現に必要なケイパビリティを強化

- 調達する資金の額：約**12億22**百万円（普通株式約**2**億円、CB約**5**億円、ワラント約**5.2**億円）
- 手取概算：約**12億06**百万円（発行諸費用控除後）

区分	具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 研究開発費	• BEPを中核とした機能拡張・接続性向上・対応領域の拡大	600	2025年10月～2029年9月
② マーケティング費	• 官公庁・自治体・民間市場での浸透加速、認知から受注までの強化	200	2025年10月～2029年9月
③ M&A待機資金	• 需要増に備え、運用・教育など近接領域のパートナー獲得	406	2025年10月～2029年9月
合計		1,206	—

※ 配分・時期は事業環境に応じ柔軟に見直す可能性があります。

※ 本件の発行条件は、発行決議日及び条件決議日時点の当社株式の株価動向にて決定されるものであり、最終的な調達金額及び割当株数は、開示資料にてご確認下さい。

株主の皆さまへのメリット

黒字化への確度と安定収益の拡大により、中長期的な株主価値の向上を目指します

メリット① 黒字化の確度

2027年度黒字化の確度を高め、持続的成長の基盤を構築

メリット② 成長機会

事業拡大と収益基盤の強化による中長期的な株主価値向上

メリット③ 収益性

ストック型収益を拡大し、安定的で持続可能な利益成長を目指す

投資家の懸念と当社の回答

懸念①

希薄化への
対応

段階的転換と一定期間の転換制限により、急激な希薄化を抑制

懸念②

資金調達の
確実性

即時に約7億円を確保し、さらに株価上昇局面で追加調達を行う設計
成長投資の実行力を担保しつつ、既存株主への配慮も両立

懸念③

黒字化と
事業成長

調達資金を研究開発／マーケティング／M&Aに集中投下し、
2027年度の黒字化と持続的成長を目指す

まとめとメッセージ

- いであ社との資本業務提携と成長投資により、公共インフラ分野での新しい産業モデルの創出を目指す
- 調達資金は未来に向けた投資に充当し、2027年度の営業黒字化と中長期的な株主価値向上に取り組む
- シンプレクス・キャピタル・インベストメントとの戦略的投資提携により、事業機会創出とIR強化を図る
- 中長期的な株主価値の向上と安定的な成長リターンを目指す

「中長期の成長ストーリーを、株主の皆さまと共に」

自律分散型の社会インフラを支える、ロボット・システムのプラットフォーマーへ

自律移動ロボットと接続されたBlue Earth Platformは、自律分散型スーパーシティの基盤インフラ「都市OS」と繋がり、各種ソリューションを提供し、スマートで新しいまちづくりに貢献します



BEPを軸としたサービスの提供

BEPシステム・アプリケーションを広く提供

都市OSをはじめとした他プラットフォームと融合

ソリューションビジネス

SaaSビジネス

PaaSビジネス
自律分散型プラットフォーム

Appendix

Appendix

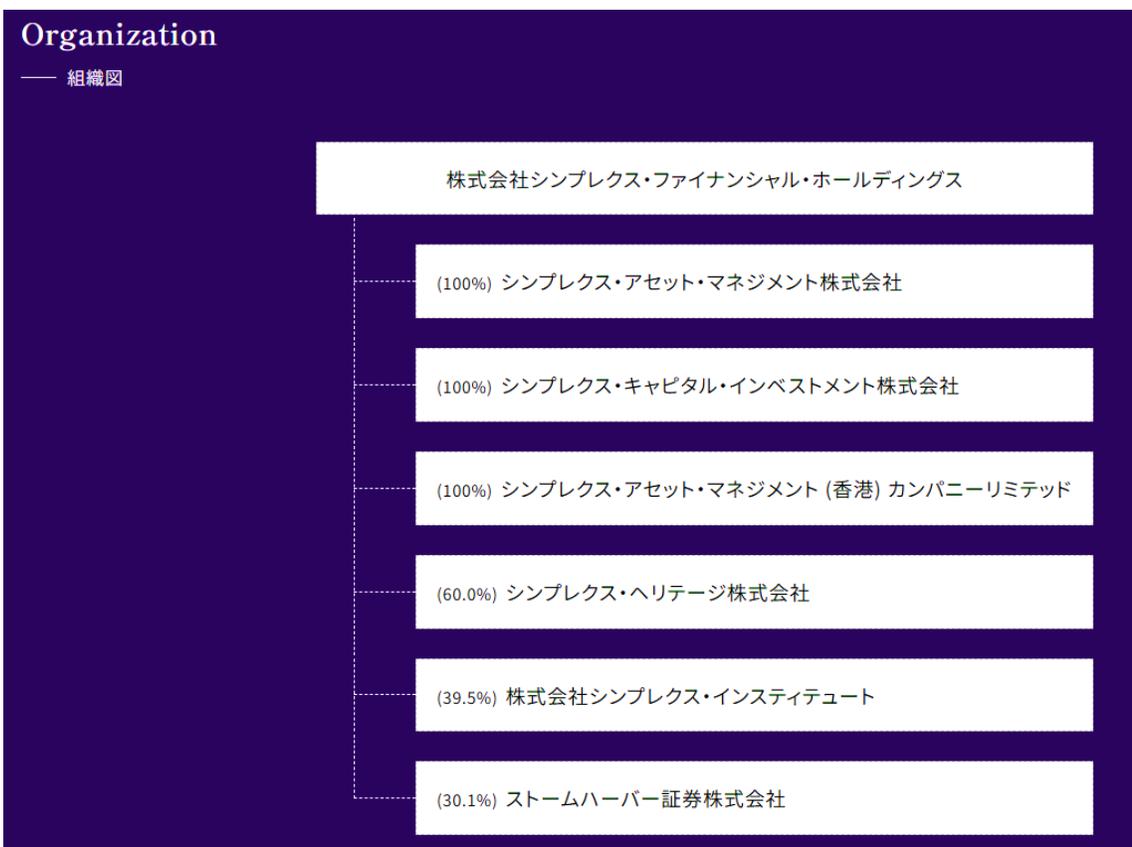
シンプレクス・キャピタル・インベストメント株式会社

<p>シンプレクス・キャピタル・インベストメント株式会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資本市場や企業価値向上の支援等に精通したメンバーによる支援体制 ・エンゲージメントによる事業面及び経営面での支援を通じた各種事業の強化 ・シンプレクス・ファイナンシャルグループ内外の経営資源を最大活用
<p>ファンド名称</p>	<p>シンプレクス・キャピタル・PIPEs投資事業有限責任組合1号</p>
<p>投資タイプ</p>	<p>グロース企業成長支援プライベート投資 エンゲージメント型</p>
<p>目的</p>	<p>グロース市場等に上場する中堅・中小企業に対し、その成長資金として資本性資金を提供し、エンゲージメントを通じて企業の成長を支援</p> <p>投資企業の選定にあたっては地域経済の活性化及び産業雇用の底上げ支援に資することも視野にいれ、地域金融機関等の「リスクマネー供給」や「ソリューション提供」を促進</p>
<p>支援内容</p>	<p>事業開発と相乗効果がある業務提携先の紹介等の事業面での支援 IRを含めた経営面での支援</p>
<p>無限責任組合員</p>	<p>シンプレクス・キャピタル・インベストメント株式会社</p>
<p>有限責任組合員</p>	<p>株式会社地域経済活性化支援機構、株式会社横浜銀行、株式会社静岡銀行、国内大手企業年金</p>

Appendix シンプレクス・フィナンシャルグループ

シンプレクス・ファイナンシャルグループの経営資源を最大活用し、エンゲージメントによる支援を通じた各種事業の強化を行います。

シンプレクス・フィナンシャルグループ



- SAMは**18年以上**にわたり、日本の上場企業のポテンシャルを引き出すために重要な役割を果たしてきました。
- 投資先企業とは、投資家または戦略的パートナーとして、企業価値向上に向けた支援を行っています。
- ***運用資産残高約1.4兆円**

* 2025年8月末

運用経験

18年

エンゲージメントを通じて
日本の資本市場を活性化



Blue innovation

